

平成25年度中小企業の振興と 人材の育成等に関する施策の概要



平成25年4月11日(木)
中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

1 技術の高度化、商品・サービスの高付加価値化等による競争力の強化

経営革新の促進及び新たな需要の創出

○新分野に進出する企業等への支援

1/2補助: 上限600万円(最大3年間)

- ・地域資源ファント、農商工連携ファント事業 7,400万円



かまぼこチップス(H23.6発売)
…地域資源ファントを活用

柿酢入り調味料(H22.12発売)
…農商工連携ファントを活用



新 ものづくり研究開発支援事業 2,000万円

1/2補助: 上限200万円
(最大2年間)

<とやま中小企業チャレンジファント事業>

新商品・新技術の研究開発等の取組みを支援

新 ビジター対応ビジネス支援事業 1,500万円

1/2補助: 上限100万円
(最大2年間)

<とやま中小企業チャレンジファント事業>

北陸新幹線開業、クルーズ客船・台北便就航に関連した新商品開発等のビジネス展開を支援

新 小さな元気企業応援事業 1,500万円

1/2補助: 上限50万円
(最大2年間)

<とやま中小企業チャレンジファント事業>

小規模企業における新商品開発、販路開拓、人材育成を支援

1/2補助: 上限50万円(プラン策定)、400万円(事業立上げ)、200万円(事業定着)

- ・建設業新分野進出等サポート事業 4,400万円

H18~24年度

屋上緑化(コケ)事業、植物工場、介護事業所経営・介護用品レンタル、ラーメン店経営、竹を使った商品開発・販売 など計55件に補助

○6次産業化による新商品開発への支援

- ・6次産業化モデル育成事業 1,000万円

1/2補助: 上限250万円

<H24創設> 立山町のそばや氷見市の梅、南砺市の干柿など、地域の資源を活用した新商品の開発6件を支援



梅酒原酒
(氷見市)



さんろく
立山三六そば
(立山町の緯度「北緯36度」と「山麓」をかけて命名)

付加価値の高い商品開発の促進

○デザインを活かした魅力的な商品開発

新 首都圏デザインマッチング支援事業費 700万円

県内企業と首都圏デザイナーとの連携による商品開発の促進

- ・デザイン相談や共同研究・開発
- ・富山プロダクツの選定
- ・デザイン人材の育成

・累計187点選定(H14~H24)
・H23年度の総売上 約15億円

・デザイン機器の開放
・デザイン講習会の開催

<デザインセンターの支援による商品化例>



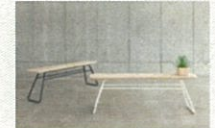
箸置き(榊能作)



八尾和紙クッション
(榎桂樹舎)



ツボ押し(榊ナガエ)



ベンチ(usuiworks榊)

○ものづくり産業の振興

- ・ものづくり産学官協働バトンゾーン形成研究会 270万円

とやまナノテク拠点創出事業費 1,682万円

世界的ナノテク研究者交流

・ナノテク国際シンポジウム(9月頃開催)
・基盤技術研究会(3分野×3回)



高度ナノテク人材育成

6ヶ月間の課題解決型研修

ナノテクものづくり基盤技術創成



企業移転を目指して3テーマ実施

○(新) ナノテクものづくり技術発信

世界最大規模のナノテク展示会
に富山県ブースを設置
(H26.1 nano tech 2014, 東京)



1-2 技術の高度化、商品・サービスの高付加価値化等による競争力の強化

産学官連携等によるものづくり技術の高度化

- ・ **新商品・新事業創出公募事業** 2,850万円 委託: 上限200万円
ものづくり技術の高度化、国等大型プロジェクトへの挑戦のための研究開発を支援
対象分野: バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機
次世代自動車、医薬工連携、ナノテク H25新設

H18～23年度に実施した研究開発計66件中、

○6件が国の大型プロジェクトに採択

3年間で最大9,750万円

- ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経済産業省)
「橋梁鋼構造物の防錆金属溶射技術の開発」(シーケー金属株)
「スズ100%フレキシブル手術器の開発」(株)T・M・C ほか

- ・ 地域イノベーション創出研究開発事業(経済産業省) 2年間で最大1億5,000万円

- 「メタボリック症候群改善に有用な医薬品の開発」(株)廣貴堂
- ・ 地球温暖化対策技術開発事業(環境省) 3年間で約1億4,000万円程度
「アルミ廃棄物からのアルミ高効率回収技術の開発」(トナミ運輸株)

- ・ イノベーション実用化助成事業(NEDO) 3年間で最大3億円

「フッ素による土壌汚染の処理技術の開発」(株)ETSジャパン



スズ製手術器
(株)T・M・C



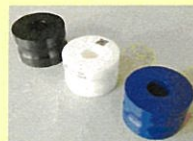
水素自動車
(トナミ運輸株)



土壌改良固化剤
(株)ETSジャパン

○10件が商品化、実用化

- ・ ファインセラミックス製打錠臼
- ・ 加工食品「イムノフェリン」
- ・ 小型破砕機「クロスシュレッダー」など



打錠臼
(株)ビー・エム・プロダクツ



加工食品
(第一薬品工業株)

○23件の特許出願

- ・ **先端技術実用化支援事業** 3,500万円 委託: 上限500万円/年、2年間

ものづくり研究開発センターの活用等により、先端技術の実用化、商品化のための困難な課題を解決する研究開発を支援

- 一般枠・・・企業や大学が研究拠点
- ものづくりセンター活用枠・・・ものづくり研究開発センターの入居スペースや最先端設備を活用



発汗サーマル
マネキン



電界放出型
走査電子顕微鏡



透過型電子顕微鏡



集束イオンビーム
加工機



ナノインプリンティング
装置

- ・ アルミ系廃棄物を用いた新規発電技術の開発(トナミ運輸株)
 - ・ 生物由来樹脂の超微細プレス加工技術の開発(株)リッチェル
- など、計7件の研究開発を実施中

- ・ **イノベーション創出研究事業** 1,600万円 1/2補助: 上限400万円

中小企業が国等の大型プロジェクトに挑戦するための、先行的研究開発を支援

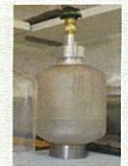
H20～23年度に実施した研究開発計10件中、

4件が国の大型プロジェクトに採択

- ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業
「電子ビームによる微細溶融加工に関する研究」(株)北熱
「ガラス繊維を活用したLPG用FRPボンベの開発」
(北陸エステアール協同組合)
「高強度な木造接合部を確立する特殊ボルトの開発」
(株)グランドワークス ほか



製剤成型金型
(株)北熱



FRPボンベ
(北陸エステアール
協同組合)

2 成長発展が期待される新たな産業の創出

創業及び新事業創出の促進

○起業、新分野進出をめざす県民・企業を支援

- ・とやま起業未来塾事業<H17創設> 1,955万円

H24までの修了生196人(地域づくりコース除く)のうち、139人が創業等 **創業者率70.2%**

- ・トライアル発注制度による販路開拓支援 200万円

H17~H24の県購入実績 4,500万円

- ・創業・ベンチャー挑戦応援事業費補助金 1,000万円

創業者等による新規性・独自性のある事業を支援
【助成率】1/2 【上限額】100万円(卸・小売業等) 200万円(製造・建設業)

- 新 第二創業支援モデル事業費補助金 500万円

企業の後継者による経営多角化や事業転換等の第二創業を支援
【助成率】1/2 【上限額】50万円(卸・小売業等) 150万円(製造・建設業)

- 新 創業等企業力強化支援事業 3億円

専門知識をもつ人材を雇用し企業力強化を図る起業後10年以内の創業者等を支援

- ・創業時の資金繰りを支援(創業支援資金<創業者枠>)

【上限】3,000万円【利率】1.45%【期間】設備7年、運転5年



とやま起業未来塾
開講式

新 とやま中小企業チャレンジファンド事業による支援

県及び県内11金融機関の連携により、(公財)富山県新世紀産業機構に設置した総額150億円のファンドの運用益を活用し、中小企業の積極的な取組みを支援する。

助成期間は最大2年間、申請書類を簡素化

- (1)ものづくり研究開発支援事業 2,000万円 <補助率1/2、上限額200万円>
- (2)プラン公募型起業家誘致事業 400万円
<補助率1/2、上限額①製造業、建設業200万円、②その他100万円>
- (3)ビジター対応ビジネス支援事業 1,500万円 <補助率1/2、上限額100万円>
- (4)販路開拓挑戦応援事業 1,500万円
<補助率1/3、上限額①県外25万円、②国外50万円>
- (5)小さな元気企業応援事業 1,500万円 <補助率1/2、上限額50万円>

新たな成長産業への参入支援

- 次世代自動車 ネットワーク会員:89機関(H24.12現在)

- ・先端技術や市場に関する最新技術セミナーの開催
大手自動車関連企業との技術交流会 675万円



(出典:三菱航空機機)

- 航空機 交流会会員:96企業・団体(H25.3現在)

- 新 共同受注グループによる試作品開発等の活動支援 200万円

- ・品質マネジメント規格認証取得補助 300万円
(JISQ9100)【補助率】1/3【上限額】50万円(取得した場合100万円)

H24年度中に県内中小企業2社が新たに認証取得

- 医薬バイオ

- ・医薬バイオ地域イノベーション戦略の推進 2,269万円
知的クラスター創成事業(ほくりく健康創造クラスター)の取り組みの研究成果の技術移転・事業化や医薬工連携による医療機器等の開発を促進

- ・ERATO「浅野酵素活性分子プロジェクト」1億9,564万円

酵素を用いた有用物質生産、新しい健康診断法の研究開発 **研究費最大12億円**
(化学工業分野での石油由来物質の使用量減少、安価で迅速な診断を目指す)

- 医薬工連携 ネットワーク会員:119機関、212名(H25.3現在)

- ・医療現場のニーズと企業のシーズとのマッチング 500万円

・国の大型プロジェクト(サポイン等)の採択2件
・医療機器等分野への新規参入3社

- ・共同研究プロジェクトの推進、全国規模の展示会への出展等 722万円

- ロボット ネットワーク会員:44機関、114名(H24.12現在)

- ・ロボット展への出展および研究開発支援 730万円
- ・とやまロボット技術研究ネットワークでの技術情報提供 40万円

・6軸力覚センサの商品化(全国シェア1位(世界第2位))
・ゴム製触覚センサの商品化

- 医薬品開発

- ・医薬品開発共同研究事業 1,800万円
県薬事研究所と国内大手企業との共同研究

2-2 ものづくり研究開発センターの概要

産業の空洞化の防止

富山県ものづくり研究開発センター



企業スペース(10室)
プロジェクトスペース(4室)
(東京都の企業(3社)なども入居)

新たな研究開発の取組み

- ❖ 超軽量マグネシウムホイールの開発
- ❖ 環境に優しい低コストICタグの開発
- ❖ 次世代スマートフォン用低コスト小型電子部品の開発

【26の最先端設備】 東京、埼玉などの首都圏をはじめ全国各地の企業も利用



(10m法電波暗室)



(超精密切削加工機)



(エレクトロスピニング装置)

世界的ナノテク研究者交流事業費

国内外の研究者を交え、研究会やシンポジウムを開催

9月頃開催予定

新・ナノテクものづくり技術発信事業費

世界最大規模のナノテク展示会に富山県ブースを設置

H26.1 Nano tech 2014, 東京

ナノテクものづくり基盤技術創成事業費

3テーマ実施

高度ナノテク人材育成事業費

センターの最先端設備を活用した6ヶ月間の課題解決型研修

ものづくり産学官協働パトゾーン形成研究会

長期インターンシップの受入

5分野11ワーキンググループ

研究開発への支援

■ 国の大型プロジェクト事業

ものづくり中小企業連携支援事業(3年間) など

(委託 1年目:4,500万円、2年目:3,000万円、3年目:2,250万円)

挑戦

■ 県の支援制度

2年間で1,000万円

・ 先端技術実用化支援事業費 (委託:上限500万円、2年間)

「生物由来樹脂の超微細プレス加工技術の開発」(ナノテック)など7テーマ予定

・ 新商品・新事業創出公募事業費 (委託:上限200万円)

採択件数の拡充(12件→14件)

・ イノベーション創出研究事業費 (1/2補助:上限400万円)

・ 中小企業自立化支援事業 (1/2補助:上限200万円)

ものづくり研究開発センターを活用した事業化製品例

～ 開発支援棟入居企業 ～



6軸力覚センサ
(株式会社ワコーテック)

電波暗室棟
などを利用



ゴム製触覚センサ
(株式会社オーギャ)

UV表面加工装置
などを利用



摩擦攪拌接合(FSW)用工具
(株式会社北熱)

摩擦攪拌接合装置
などを利用

2-3 企業立地の促進による新たな産業の集積

最近の主な企業立地

○パナソニック(株)デバイス社

- ・魚津工場(システムLSI H17.10稼動 約1,300億円)
- ・砺波工場(イメージセンサー 約940億円)

○日本ゼオン(株) (氷見市、高岡市)

- ・液晶ディスプレイ用光学フィルム製造工場
- ・3Dテレビ等の光学フィルム製造ライン等 } H19~23 約180億円

○コマツNTC(株) (南砺市 H23.5稼動)

- ・太陽光発電ウエハー製造装置 約18億円

○日本電工(株) (高岡市 H23.2竣工)

- ・リチウムイオン電池工場 約40億円

○コマツキャストクス(株) (氷見市 H22.5竣工)

- ・エンジン用鋳鉄部品等工場 約80億円

○三菱ふそうバス製造(株) (富山市 H22.6稼動)

- ・小型バス部門を富山へ移管

○第一ファインケミカル(株) (高岡市 H23.3竣工)

- ・トラネキサム酸製造工場 約50億円

○アステラスファーマテック(株) (旧アステラス富山(株))

- ・発酵技術研究棟 約55億円(富山市興人町H23.3竣工)

○日医工(株) (滑川市)

- ・新製剤棟(ペンタゴン棟) 約73億円(H22.4稼動)
- ・グローバル開発品質管理センター 約25億円(H23.12竣工)

○(株)プレステージ・インターナショナル (射水市 H26.4 着工 H27.2 稼動予定)

- ・コールセンター約30億円(新規雇用 約1,500名予定)

立地企業による雇用創出などの動き

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
雇用創出数	1,197人	1,203人	1,003人	639人	435人	520人	242人
企業立地件数	32件	36件	38件	33件	16件	14件	13件
面積	41ha	58ha	48ha	30ha	14ha	29ha	10ha

富山県企業立地促進計画(第2期)

平成25年4月1日~対象業種を拡大し企業立地促進計画を継続実施!

集積業種

- ①環境・エネルギー 関連産業 (次世代自動車・小水力発電)
- ②ものづくり関連産業 (航空機・ロボット)
- ③医薬・バイオ・健康生活 関連産業 (医薬品等)
- ④情報サービス関連産業 (コールセンター・データセンター)
- ⑤物流関連産業 (倉庫業、道路貨物運送)

優遇措置

- ・設備投資減税(特別償却の上乗せ)
- ・緑地率の緩和(例:20%→15%又は10%)
- ・不動産取得税、固定資産税の免除

承認状況(平成21年9月末現在)

	全国	富山県
件数	607件	33件 (5.44%)
総投資額	3兆119億円	1,758億円 (5.84%)

2位

平成25年3月末現在
件数: 72件
総投資額: 2,446億円

新幹線開業効果を生かす企業誘致

新 新幹線沿線企業誘致強化事業 180万円

北関東エリアにおける成長性の高い企業の情報収集、立地セミナーの開催

新 企業誘致新幹線広報推進事業 660万円

新幹線利用者向けの企業立地PR広告の掲出

北陸新幹線の開業が
大きな誘致効果に!

3 販路開拓に関する事業環境の整備(国内)

商談会・見本市の開催、出展助成

○展示会への出展・商談会の開催

新 首都圏展示会共同出展事業 935万円

小規模企業の大規模見本市への共同出展を支援

- ・機械要素技術展(H25.6:東京)
- ・テクニカルショウヨコハマ(H26.2:神奈川)



・新技術・新工法展示商談会事業 240万円

県内企業の高いものづくり技術を中京圏の自動車関連企業にPR

・首都圏販路開拓支援事業 972万円

首都圏販路開拓員を配置し、首都圏発注企業の開拓及び機械・金属、食品分野の商談会を開催



(商談会開催等による成果:H23実績)
商談成約 82件、2億6,500万円

とやま中小企業チャレンジファンド事業

新 販路開拓挑戦応援事業 500万円(国内分)

展示会、見本市への出展に要する経費を助成

1/3補助
上限25万円(国内)
助成期間 2年間

・販路開拓ステップアップ事業 1,605万円

販路開拓サポーター(商社OB)を配置し、首都圏等でのビジネスマッチングを支援

(成果:H23実績)
商談成約 32件、1億1,080万円

販路開拓支援

○新分野に進出する企業への支援

・「明日のとやまブランド」育成支援事業 700万円

新商品開発や販路開拓等を支援



H22~24の3年間で
13品目17事業者選定

・富山プロダクツの選定 200万円

機能性・デザイン性に優れた工業製品を選定

・累計187点選定(H14~H24)
・H23年度の総売上 約15億円



・越中富山お土産プロジェクト 752万円

「越中富山幸のこわけ」について「おすそわけ」のコンセプトにより慶事用ギフトの開発等を実施



○創業者の支援

H17~H24の県購入実績 4,500万円

・トライアル発注商品

新商品を県が認定し、販路開拓等を支援



○6次産業化による新商品開発への支援

1/2補助:上限250万円

・6次産業化モデル育成事業 1,000万円

<H24創設>立山町のそばや氷見市の梅、南砺市の干柿など、
地域の資源を活用した新商品の開発6件を支援



梅酒原酒
(氷見市)



さんろく
立山三六そば
(立山町の緯度「北緯36度」と
「山麓」をかけて命名)

3-2 販路開拓に関する事業環境の整備(海外)

海外における販路開拓活動の促進

- 新 富山県海外販路開拓・受注拡大活性化事業** 1,915万円
 ・タイ・台湾における国際展示会に富山県パビリオンを設置
 ・「海外販路・受注拡大プレゼン集」を作成し、企業の技術力を海外市場にPR

＜タイ国際展示会 ～サブコン・タイランド2013(バンコク)～＞
 期間: H25.5.16～18
 内容: 自動車、金属、電気電子等の部品メーカー専門の国際見本市
 県内出展企業: 6社(予定)

- 拡 海外販路開拓サポートデスク事業** 2,180万円
 ・海外販路開拓サポートデスクの相談対応体制の拡充
 ・バンコク・台北サポートデスクと連携したマッチング支援

相談件数 H23: 132件 H24: 205件(対前年度1.6倍)

H24.12.14 バンコクビジネスサポートデスク開所
 H25. 1. 8 台北ビジネスサポートデスク開所



バンコクビジネスサポート
デスク開所式

- NEAR2014(仮称)出展準備事業** 179万円
 ・次回「富山県ものづくり総合見本市」の開催に向けた
 出展勧誘

＜第2回「ものづくり総合見本市2012」の開催結果＞
 期間: H24.9.27～29(3日間) 出展企業: 372企業・団体
 商談成約額: 約50億円(前回: 約55億円)
 商談件数 : 1,541件(前回比50%増加)



「ものづくり総合見本市
2012」での商談風景

- 拡 農林水産物海外市場開拓事業** 400万円
 ・アジアのバイヤー招へいによる商談会の開催や海外販路拡大を支援

- 拡 海外見本市の出展支援** 1,000万円(海外分)
 (販路開拓挑戦応援事業(とやま中小企業チャレンジファンド))
 ・県内中小企業の海外見本市出展等の販路開拓活動を支援

補助率 1/3 上限額 50万円 助成期間 2年間

経済交流の促進、物流の活性化

- 新 ベトナム・インドネシア経済訪問団の派遣** 798万円
 ・富山ものづくりセミナー・商談会の開催
 ・現地政府機関等の訪問 など



ものづくりセミナーin台北

- 新 インド経済交流促進事業** 300万円
 ・インドビジネスに関するシンポジウムや
 バイヤー招へい商談会の開催



- 拡 伏木富山港拠点化支援事業** 2,398万円
 ○荷主企業奨励金の拡充
 ・シフト・新規コンテナ貨物に係るインセンティブ制度(最大2万円/TEU)
(新)RORO船貨物の集荷促進を図るインセンティブ創設

交付額 1万円/20トン(又はm³) 上限額 100万円(増差分のみ)

- 船社助成金
 ・ガンリークレーン使用料×1/10 ・入港料・岸壁使用料×1/2
 ○伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金
 ・荷主企業の試行的輸送実験に助成 補助率1/2 上限額100万円

- 拡 伏木富山港利用促進PR活動事業** 2,412万円
 ・ポートセールス活動(個別訪問)、荷主企業利用実態調査、
 伏木富山港利用促進セミナー(東京、大阪、岐阜、長野)の開催

- 拡 環日本海物流ゴールドルート構想の推進** 1,970万円
 ・ロシア極東航路(RORO船定期航路)とシベリア
 鉄道を活用した欧州までの初の運航実験の実施
 ・台湾向け釜山トランシップ運航実験の実施



ロシア・極東海運クルダコフ
取締役来県

- 拡 富山・岐阜・長野3県連携海外バイヤー招へい商談会** 300万円
 ・岐阜県及び長野県との連携により、伏木富山港への貨物創出
 を図るバイヤー招へい商談会の開催

4 経営の安定及び経営基盤の強化

中小企業支援体制の強化

- 相談から支援までの総合的な支援体制の整備
 - ・商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の運営支援
13億2,769万円

商工会、商工会議所(H23実績)

- ・経営指導員 巡回指導 39,999件、窓口指導20,746件
- ・講習会等 集団指導 7,010件、個別指導 5,390件

中小企業団体中央会(H23実績)

- ・組合相談窓口受付 1,762件
- ・実地指導件数 1,318件

- ・**県中小企業支援センターの運営支援** 1億2,234万円

- ・専門家派遣事業(H23実績) 計 755件
- ・窓口相談事業(H23実績) 計1,390件

- ・下請取引あっせん(H23実績)

成約件数: 55件、成約金額: 5,564万円

資金供給の円滑化

資金繰り円滑化

金融円滑化終了への対応のため取扱期間を1年延長

- 経済変動対策緊急融資(融資枠260億円)

【利率】年1.65%→1.45%【保証料率】年0.8%→0.5%

- 緊急経営改善資金(借換資金)(融資枠120億円)

経済活性化支援

H24融資実績 緊急融資 1,920件176億円
(H25.2月末現在) 借換資金 918件109億円

拡 新幹線開業対策枠の要件拡充 対象: **二次交通の整備等**

拡 再生可能エネルギー利用促進資金の融資枠の拡充

【融資枠】3億円(H24.9月補正) → **15億円** 対象: 太陽光・小水力発電等

拡 設備投資促進資金の利率引下げ措置の継続 【利率】年2.1% → **1.9%**

小規模企業者への支援

対象: 従業員20人以下(商業・サービス業5人以下)

拡 小口事業資金(一般小口枠)の限度額引上げ 1,250万円→**1,500万円**

拡 緊急経営改善資金(小口枠)の限度額引上げ 1,000万円→**1,500万円**

受注機会の増大

- トライアル発注制度による販路開拓支援 200万円

H17~H24の県購入実績 4,500万円

土NO袋、意匠ガラス、タペストリー・ディスプレイなど



- 発注工事における取組み

- ・ 国直轄事業、北陸新幹線工事における県内受注機会の確保等の要請

<受注実績> 国直轄事業: C,Dランク100%(H23)

新幹線土木工事: 県内企業を含むJVの受注97%(H13~H21)

拡 下請契約における県内企業優先選定

地場産品優先使用の取組み強化(H24.4~)

県内企業・地場産品使用の工事件数の割合(H24.9.30現在): 88%

- 物品調達のうち約9割を県内事業所に発注(H23本庁10万円超)

下請取引の適正化

- 県発注工事における取組み

- ・ 調査基準価格の引上げ、失格基準の導入による極端な低入札の排除

<低入札の発生状況>

H22: 132件(8.8%) H23: 123件(8.4%) H24.12月末: 56件(4.8%)

- ・ 入札参加制限制度の導入(H24.7.30~)

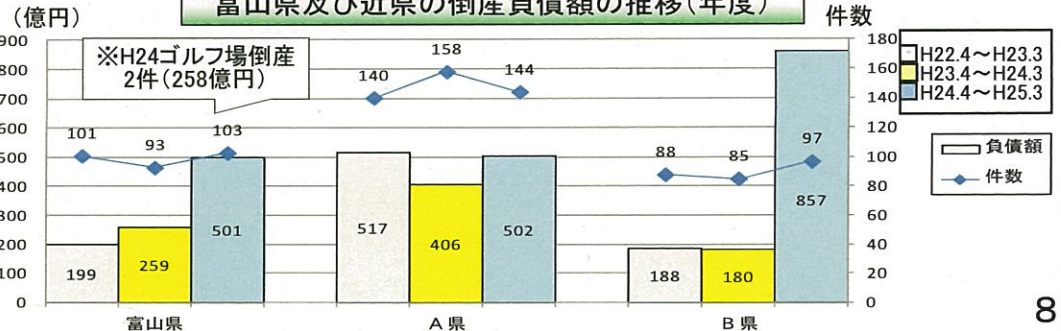
工事成績が一定の基準に満たない企業が、低入札により工事を落札した場合は、その後6ヶ月は再度の低入札を無効

<入札参加制限企業>

19社(H25.3月末現在)

- 下請法、下請相談窓口の周知PR

富山県及び近県の倒産負債額の推移(年度)



5 商業・サービス業の振興、まちづくり等による地域の活性化

商業・サービス事業者の経営革新の促進

○顧客の期待等に応える事業展開の支援

新 まちの逸品PRキャンペーン事業 1,650万円

H24まちの逸品ブラッシュアップ事業で選定された商品の認知度向上のためのキャンペーンを実施

(商品イメージ)

<H24まちの逸品ブラッシュアップ事業>

箱菓子、スイーツ、工芸品等の15品目を選定し、女性に好まれるよう改良



新 ビジター対応ビジネス支援事業 1,500万円

<とやま中小企業チャレンジファンド事業>

北陸新幹線開業、クルーズ客船・台北便就航に関連した新商品開発等のビジネス展開を支援

1/2補助:上限100万円
(最大2年間)

○地域課題へ対応する事業への支援

・買い物サービス支援事業 100万円

買い物サービス事業の創業・事業拡大に必要な経費を支援

・福祉事業者が御用聞きを行い、商店の商品を配達する宅配事業
・スーパーが近隣商業者と協力して運行する買い物支援バス事業 等

伝統産業など地域に根ざした産業の振興

○伝統工芸品のPR・販路開拓支援

新 とやま伝統工芸魅力発信事業 650万円

県内の優れた工芸品を「富山県伝統工芸品」として指定し、国内外からの観光客等にPR



伝統的工芸品展

・富山県伝統的工芸品展の開催 92万円

<H24実績>伝統的工芸品70品の展示、実演 及び 製作体験の実施(参加者242名)(H24.11月)

1/2補助:上限300万円

・販路開拓事業(地域産業活性化事業の一部) 1,000万円

見本市(東京インターナショナルギフトショー等)出展や展示会開催への支援

地域の特色を生かしたまちづくりの促進

○まちの賑わいづくりの推進

・認定中心市街地支援事業 2,450万円

「ギャラリー・ミレー」整備、
「クリスマスペットボトルアート
in TAKAOKA」開催 等



ギャラリー・ミレー



クリスマスペットボトルアート in TAKAOKA

○商店街の活性化支援

・がんばる商店街支援事業 2,438万円

ポイントレシートを活用した「レシートdeサポート」事業(H24南砺市)

WEB物産展開催による販路拡大(H24高岡市)

新湊大橋開通時に商店街ツアー(H24射水市)

ポイントカードシステム導入(H24富山市)

消費者がポスト投函するポイントレシートに応じ、スポーツ少年団などの子育て活動に支援

・商店街活性化サポート事業 1,980万円

推進員配置により新商品開発や販路開拓等を支援

藤子不二雄A氏キャラクター関連イベントの支援(氷見市)
地元特産物を使用した新商品開発(富山市)

水橋橋まつり会場等で販売

・とやまの次世代商人発掘塾事業 487万円

県内若手商業者20名程度を対象に、リーダー養成塾を実施

住民ニーズに基づき惣菜店・カフェ「藤吉」開業(魚津市)
商店街活性化計画策定準備(魚津市)
市町村を跨いだ「まちコン」実施(南砺市・氷見市)

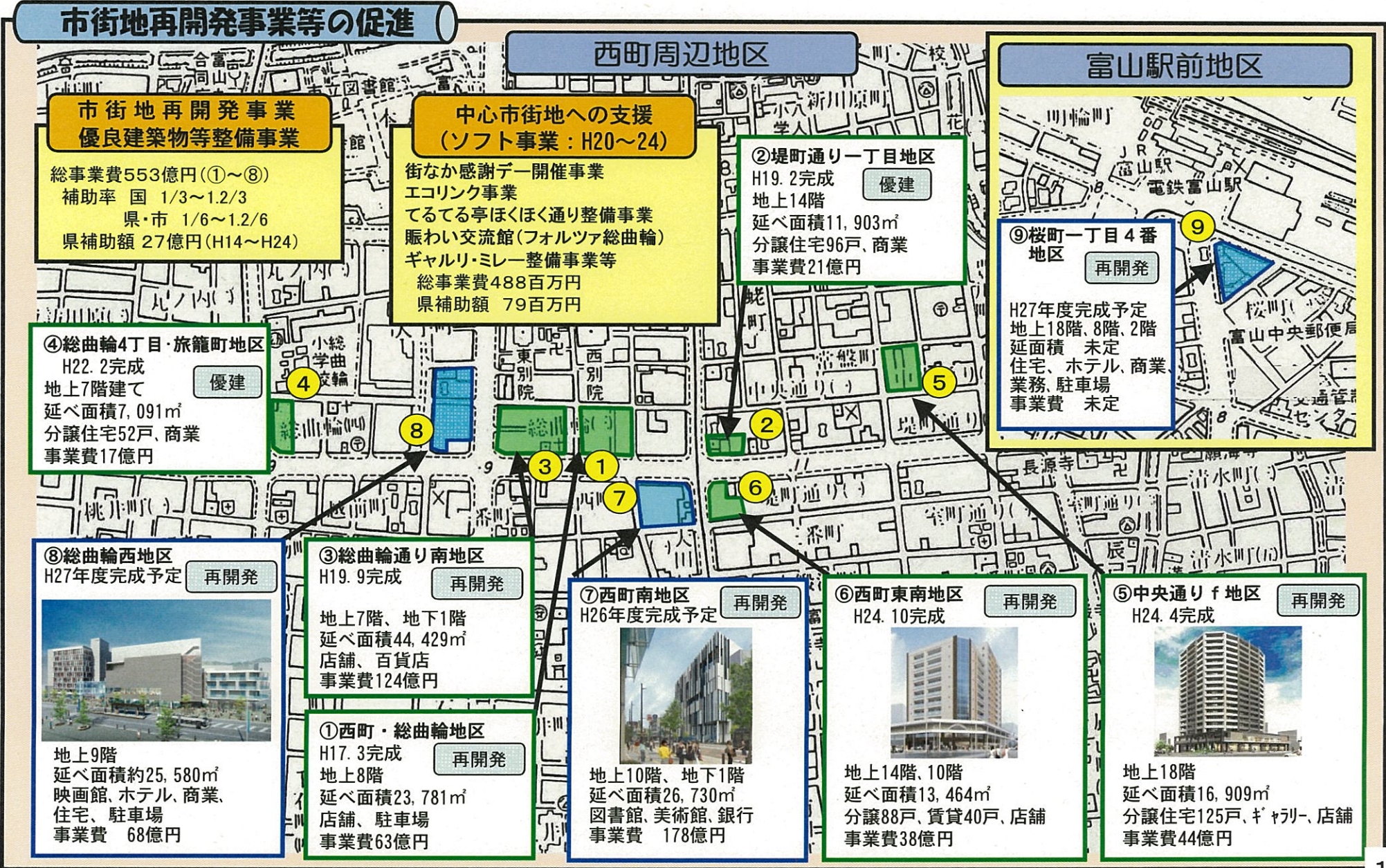


惣菜店・カフェ「藤吉」

新 新幹線開業対策商店街魅力向上事業 1,000万円

観光施設等との回遊性向上のための施設整備や地域資源を活用したイベント、空き店舗対策等商店街の魅力を向上させる取り組みを支援

5-2 商業・サービス業の振興、まちづくり等による地域の活性化



6 産業の発展を担う人材の育成

とやま起業未来塾

H25県予算
1,955万円

起業、新分野進出をめざす県民を支援＜H17創設＞

- ・名誉会長 石井 隆一 富山県知事
- ・塾長 田中 一郎 田中精密工業(株)相談役
- ・塾頭 一柳 良雄 (株)一柳アソシエイツ社長

6月～11月(原則、毎週土曜日)

定員20名程度



一柳塾頭

田中塾長

年度	修了者	創業者等
H17～24	198名	139名

(地域づくりコース除く) **創業者等の率 70.2%**

創設の趣旨

- 富山県人の特性として一勤勉で進取の気性に富む
- 少ない開業、増える廃業
- 県民・企業のチャレンジを大いに推奨したい
- 地域の振興は、人間の振興

修了生の声

- 志の高い仲間とのネットワークが形成できた
- 経済界トップとの人脈が形成できた
- 修了後も大切な財産となっている

修了生の主な取組み例

- 森弘吉さん(5期生)
- リサイクル装置を開発し受注好調。
- H24.6中小企業庁長官賞受賞。



エコシェア®分離・破砕機

- 経営環境の変化に対応できる中小企業の人材育成を支援
- ・富山県中小企業大学校の開催 1,351万円

- 全国から優れた創業者、起業家を誘致
- 新 プラン公募型起業家誘致事業** 400万円
- ＜とやま中小企業チャレンジファンド事業＞

県外から公募したビジネスプランに基づく事業を支援

補助率 1/2
上限額①製造業、建設業 200万円
②その他 100万円
助成期間:最大2年間

とやま観光未来創造塾

H25県予算
800万円

- 平成26年度末の北陸新幹線開業に向けて
- ・観光を担う人材の育成
- ・おもてなし力の向上・魅力的な旅行商品の造成など

新幹線開業後も『選ばれ続ける観光地』に

6月～11月開講

H23第1期生85名、H24第2期生78名修了

- 観光魅力アップコース (食のおもてなし専攻・観光地域リーダー専攻)
- 観光ガイドコース
- おもてなし入門コース

支援体制

名誉塾長 富山県知事 石井隆一

塾長

主任教授

豊富な講師陣



東京大学副学長
西村 幸夫



観光カリスマ
山田 桂一郎



富山大学教授
渡辺 康洋



鳥羽「海月」女将
江崎貴久 ほか

修了生の声

- 塾で人と出会えたことが財産。連携して富山の観光を活性化したい。
- 一流講師陣の講義が素晴らしい。ぜひ実践したい。

修了生の主な取組み例

- 塾で学んだガイドング技術を宿泊客を対象とした「朝の散歩ツアー」で実践し、満足度が向上。
- ロビーに民芸品に囲まれたカフェスペースを併設し、滞留時間を延長。

6-2 産業の発展を担う人材の育成

段階的・体系的な職業能力開発の促進

○学卒者、離転職者に対する公共職業訓練の充実 6億1,376万円

学卒者訓練（高卒程度 2年間） **就職率:ほぼ100%**

自動車整備科、メカロクス科、電子情報科 各20名



ハイブリッド車整備

○新技術の普及に対応した職業訓練を実施

成長分野に関し、近年、普及が進む新技術を担う人材の育成を目指す職業訓練を技術専門学院で実施

新 自動車整備科の拡充 949万円

カリキュラムを拡充しハイブリッド車整備技術を習得

新 環境エネルギー設備科の新設 1,100万円

太陽光パネル取付や省エネ設備工事に対応できる技能者を養成



太陽光パネル整備

新 成長分野人材育成講座の新設 200万円

成長が期待される環境、エネルギー分野の在職者訓練コースを新設

○企業ニーズに応じた多様な在職者訓練を実施

・オーダーメイド型訓練等の拡大 864万円

オーダーメイド型 H20: 300名 → H25: 1,300名 (4.3倍)

レディメイド型 H20: 665名 → H25: 400名 (0.60倍)

【カリキュラムの例】工業技術、情報・パソコン技術など

・グローバル人材育成支援事業 525万円

成長著しい中国、台湾、東南アジア、インドなどを対象に企業の海外展開を担う人材を育成

<H24創設> 93社 339名受講

○雇用のセーフティネットとしての離職者訓練を拡充

・離職者訓練の定員枠の拡大

定員枠の拡大、介護・保育など多様な訓練科目を設定

民間委託訓練 H20: 273名 → H25: 1,900名 (7倍)

技術専門学院短期課程 H20: 406名 → H25: 464名 (1.14倍)

○求人ニーズに応じた離職者向け訓練コースを実施

新 観光ビジネス人材育成支援事業 1,827万円

新幹線開業により雇用拡大が期待される観光産業ニーズに対応

新 企業立地人材育成支援事業 1,050万円

立地企業に職業訓練を委託し即戦力となる人材を養成

技能者の育成、技能の継承

新 ものづくり技能人材育成研修 2,580万円

ものづくり中小企業の現場ニーズに対応した研修会

- ・現場リーダー養成(1泊2日、15名/回、年2回)
- ・小規模企業への出前講座(25社)
- ・CNC旋盤を活用した高度技能者育成(4職種、40名)



高度技能者の育成

○若手技能者キャリア・アップ研修 100万円

若手技能者の意欲向上を図るための県内ものづくり企業経営者の講話

H22~24 97名受講



企業経営者の講話

【受講者の声】仕事への新たな考えや意欲がわいた

○高校生ものづくり技能出前研修 560万円

県内工業高校等にとやまの名匠等を派遣し直接、技能指導

H23~24 26コース394名受講



高校生への実技指導

【受講者の声】きめ細かな指導で、ものづくりの楽しさ実感

職業観、勤労観の形成

○望ましい勤労観・職業観の形成のために

・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 1,763万円

H24 全公立中学校81校で実施

参加生徒数: 9,717人、受入事業所数: 3,266か所

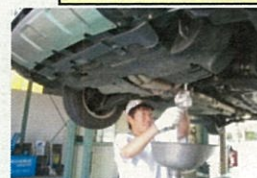
○高校生のインターンシップを推進<H12~実施>

・高校生インターンシップ制度推進事業 33万円

体験率71.3%(H24)

・インターンシップ活動事業(大学生等) 630万円

H16: 200社576人(県外56人) → H24: 244社871人(県外193人)



自動車整備作業



販売体験学習



電線切断作業

7 雇用機会の確保と雇用環境の整備

中小企業を支える人材の確保

拡 県内中小企業人材マッチング促進事業 999万円

①人材確保力アップセミナーの開催(中小企業採用担当者向け)

78社、100人参加(H24)

②中小企業魅力発見セミナーの開催(学生向け)

・県外(「元気とやま! 就職セミナー」)

8回、750人参加(H24)

・県内(「学内セミナー」)

3大学、350人参加(H24)

③富山県の魅力ある中小企業ガイドの発行

・H24:3,000部 ⇒ H25:6,000部

152社掲載(H24)

④富山県中小企業の魅力発信サイトの開設(H24.9.25)

新 開拓員による小規模企業に対する新規掲載企業の開拓

新 動画対応等の内容の充実



・ヤングジョブとやま運営事業 2,925万円

利用者20,735人、カウンセリング2,717人(H23)

・県内企業人材養成モデル推進事業 7,350万円

新規学卒未内定者等を雇用する企業等に委託して、新規採用者の人材養成モデルの検証及び活用を促進(採用枠20人)

H22:18社31人 → H23:26社38人 → H24:22社32人

・Uターンフェア イン とやまの開催 400万円

県内外に進学した新規学卒者の県内就職を推進する
県内最大規模のセミナー・合同企業説明会

221社、2,030人参加(H24)



Uターンフェア イン とやま

新 「とやまで就職」I・Jターン支援事業 560万円

県外出身者対象の就職フェアの開催等、Jターン希望者に対する
転職、就職支援

新 若者職場定着チャレンジ事業 500万円

研修会やモデル企業での実践活動、ハンドブックの作成

意欲と能力に応じた多様な就業の促進

○高齢者の就業支援

・とやまシニア専門人材バンクの開設(H24.10.1)

1,430万円

専門的知識・技術等を有する高齢者対象の人材バンク

登録企業83社

登録者数263人、うち就職者数77人(3月末現在)



・県シルバー人材センター運営費等補助金 1,030万円

○障害者の就労支援

・知的・精神障害者雇用奨励金の支給 1,488万円

新 中小企業等障害者雇用推進事業 100万円

障害者雇用促進のための講座、優良企業見学会の開催

H24実施内容:県東部、西部で各1回開催、参加者 企業の管理職等計35人

障害者雇用に積極的に取り組む企業の認証の実施

新 障害者職業能力開発促進体制の整備 350万円

障害者の就職支援のため関係機関のネットワークを構築

安心して働くことができる雇用環境の整備

拡 仕事と子育て両立支援パワーアップ推進事業 300万円

・行動計画の策定支援、優良事例紹介、企業内研修会への講師派遣

・「元気とやま! 子育て応援企業」への登録促進 入札参加資格の優遇

H21.6 子育て支援・少子化対策条例制定

法を上回る51~100人規模の企業にも計画策定を義務付(H23.4~)

一般事業主行動計画の策定状況 1,587社(H25.2)

51~100人企業 H20:13.8%→H25.2:97.3%(467社/480社)

・仕事と子育て両立支援セミナーの開催

両立支援企業表彰の実施 100万円

セミナー参加者数 160人(H24)

表彰企業数累計 59社(H17~H24)



・事業所内保育施設設置・運営への助成 3,020万円

設置数 H16:27箇所→45箇所(H25.4.1現在)

新 仕事と生活の調和推進事業 100万円

治療と仕事の両立を支援するためのセミナーの開催等